

第1学年 音楽I 学習指導案

日 時 令和元年 11月19日(火曜日) 6時間目
場 所 鹿児島県立川辺高等学校 音楽堂
対象学級 普通科1年2組
(男子5名 女子10名 計15名)
授業者 下園 俊郎

1 題材 「合奏を楽しもう」～リズムアンサンブルを楽しもう～

2 教材 Clapping Quartet No.1 (長谷部 匡俊 作曲): 高校生の音楽1 p34～p35
ワークシート

3 生徒の実態と題材について

本クラスは明るく活発なクラスで、授業に対して前向きに取り組むことができる。これまで、歌唱では『時の旅人』(混声3部合唱)、器楽では『アルトリコーダーのエチュード』(アルトリコーダー)を行った。その中で、リズムを取ることやお互いの音を聴きあって演奏することを苦手とする生徒が多いことが分かった。

そこで、この授業を通してリズムについての理解を深め、それぞれの役割を考えグループで練習することで、お互いの音を聴き合って演奏したり、自己のイメージを持って音楽表現を創意工夫することができるようになるのではないかと考えた。また、お互いの発表を聴きあうことで、音色・奏法・音楽の構造と音楽のよさや美しさとの関わりを理解することができるのではないかと考え、本題材を選択した。

4 指導目標

- (1) リズムアンサンブルのリズムや音色、音楽の構造に関心を持ち、主体的に音楽表現に取り組んでいる。
- (2) リズムを正確に把握し、お互いの音を聴きあって演奏することができる。
- (3) グループでの話し合いを通して、『Clapping Quartet No.1』の仕組みを生かした表現を行うことができる。
- (4) 音色・奏法・音楽の構造と音楽のよさや美しさとの関わりを理解することができる。
- (5) それぞれの演奏について評価し発表することができる。

5 指導計画

| 時 間 | 学習活動 |
|-----------|--|
| 1 | (1) 「リズムアンサンブル」についての理解を深める。 (2) Clapping (手拍子) の音色についての理解を深める。 (3) 4人または5人のグループに分かれ、それぞれのパートを決める。 (4) 『Clapping Quartet No.1』のリズムについての理解を深める。 (5) 『Clapping Quartet No.1』の主なリズムを全体で練習する。 |
| 2 | (1) 『Clapping Quartet No.1』の主なリズムを全体で練習する。 (2) グループごとに分かれて、リズムアンサンブルを練習する。 |
| 3 | (1) 話し合いを通して、『Clapping Quartet No.1』の仕組みの理解を深める。 (2) グループごとに分かれて、リズムアンサンブルを練習する。 |
| 4 | (1) 音素材についての理解を深める。 (2) 話し合いを通して、『Clapping Quartet No.1』の仕組みの理解を深める。 (3) グループごとに分かれて、リズムアンサンブルを練習する。 |
| 5 | (1) 話し合いを通して、『Clapping Quartet No.1』の仕組みの理解を深める。 (2) 話し合いを通して、『Clapping Quartet No.1』の仕組みを生かした表現について考える。 (3) グループごとに分かれて、リズムアンサンブルを練習する。 |
| 6 (本時) | (1) グループごとに分かれて、リズムアンサンブルを練習する。 (2) グループごとに発表する。 (3) それぞれの演奏について評価し発表する。 (4) 音色・奏法・音楽の構造と音楽のよさや美しさとの関わりを理解する。 |

6 評価の観点

| 音楽への関心・意欲・態度 | 音楽表現の創意工夫 | 音楽表現の技能 | 鑑賞の能力 |
|--|--|--|--|
| リズムアンサンブルの喜びを味わい、リズムや音色、音楽の構造に関心を持ち、主体的に音楽表現や鑑賞の学習に取り組もうとしている。 | リズムアンサンブルを形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、音楽表現を工夫し、表現意図をもっている。 | 創意工夫を生かしたリズムアンサンブルをするための技能を身に付け、創造的に表している。 | リズムアンサンブルを形作っている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、解釈したり価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わっている。 |

7 本時の実際

(1) 本時の目標

- 音色・奏法・音楽の構造と音楽のよさや美しさとの関わりを理解し、『Clapping Quartet No.1』を演奏することができる。

(2) 本時の展開

| 課程 | 学習活動 | 形態 | 指導上の留意点等 | 評価 |
|-------------|---|----------------------------------|---|--|
| 導入 (5) | 1 本時の目標について知る。 「音色・奏法・音楽の構造と音楽のよさや美しさとの関わりを理解し、『Clapping Quartet No.1』を発表しよう。」 | 一斉 | ・板書で本時の目標や活動内容を確認する。 ・前時を振り返り、学習内容を整理させる。 | ・題材に関心を持って活動している。 【関・意・態】 |
| 展開 (35) | 2 グループごとに分かれて、リズムアンサンブルを練習する。 3 グループごとに発表する。 (1) 演奏の評価について意見交換を行う。 (2) 『Clapping Quartet No.1』をグループごとに発表する。 4 それぞれの演奏について評価し発表する。 | グループ ペア 個人 | ・机間指導を行い、生徒一人一人の課題に対してコーチングする。 ・ワークシートを配布する。 ・演奏の評価がしやすいように、意見交換により評価のポイントを明確にさせる。 ・数名の生徒に指名し、発表させる。 | ・リズムアンサンブルに主体的に取り組んでいる。 【関・意・態】 ・表現意図を持って演奏している。 【創意工夫】 ・創造的に表している。【技能】 ・よさや美しさを味わっている。 【鑑賞】 |
| まとめ (10) | 5 本時の振り返りをする。 | 個人 一斉 | ・振り返りシートに感想を書かせる。 ・教師による気づきを伝える。 | ・他者の意見を得ながら考え、主体的に取り組んでいる。【関・意・態】 |

(3) 本時の評価

- 音色・奏法・音楽の構造と音楽のよさや美しさとの関わりを理解し、『Clapping Quartet No.1』を演奏することができたか。